

日 誌 (昭和43年7月)

【国内】

- 11日 ○第22回全国銀行大会開催
 23日 ○政府、昭和43年度年次経済報告(経済白書)を發表
 ○昭和43年度上期最高輸出会議、43年度の輸出口額を12,777百万ドル(通関ベース、対前年度実績比+18.5%)と決定
 29日 ○金融制度調査会総会、民間金融機関に関する特別委員会の「金利および金融機関の規模」についての中間報告を了承

【海外】

- 1日 ○ケネディ・ラウンドに基づく関税一括引下げ実施
 ○カナダ銀行、公定歩合引下げを發表(7.5→7.0%、2日から実施)
 ○EEC関税同盟発足
 ○西ドイツ、付加価値税率の引上げを実施(一般税率10→11%)
 ○西ドイツ、最低準備預金制度の対象金融機関別分類を変更
 ○フランス、輸入割当措置を実施
 3日 ○フランス銀行、公定歩合引上げを發表、即日実施(3.5→5.0%)
 5日 ○フランス、国家信用理事会、居住者の外貨建預金に準備預金制度の適用を決定
 ○イタリア、レオネ内閣成立
 7日 ○BIS会議、ポンド残高処理問題を重ねて討議(8日まで)
 8日 ○英蘭銀行、ポンド残高処理問題に関して声明を發表
 ○英国、独占禁止委員会、パークレイズ、ロイズ、マーチンズ3行の合併計画に反対する旨政府に答申
 9日 ○韓国、輸入抑制措置を發表
 10日 ○ニューヨーク連銀、フランス銀行とのスワップ枠を拡大(1→7億ドル)
 ○フランス銀行、主要中央銀行およびBISとの間で短期信用取決め(13億ドル)を締結
 13日 ○英国大蔵省と英蘭銀行のスタッフから成る使節団、ポンド残高処理問題の討議のため、ポンド圏諸国に向けて出發
 ○フランス、クーブドミュルビル内閣成立
 17日 ○オランダ市中銀行、コール・レートを引下げ
 21日 ○米国連邦準備制度、貸出制度改革案を發表
 22日 ○EEC閣僚理事会、フランスに対する相互援助を採択
 23日 ○OECD、フィンランドの加盟を勧奨
 ○ロンドン、ケンブリッジ両大学、悲観的な英国国際収支見通しを發表
 24日 ○カナダ、金融機関の対外貸出ガイドラインの適用範囲を拡大
 ○OECD、経済政策委員会(EPC)を開催(25日まで)
 25日 ○英国政府、パークレイズ、ロイズ、マーチンズ3行の合併計画に反対する旨声明
 ○パークレイズ、マーチンズを吸収合併する旨發表
 26日 ○イタリア政府、明年度予算の政府原案および景気振興策(案)を決定
 29日 ○カナダ銀行、公定歩合を引下げ(7.0→6.5%)
 ○EEC閣僚理事会、統一労働市場設立につき合意成立
 ○EEC、牛肉・牛乳・乳製品につき共同市場発足
 ○IMF、対英定期協議を開始
 30日 ○世銀、貸出金利の引上げを發表(6.25→6.5%、8月2日から実施)
 ○米国鉄鋼労使、向こう3年間の労働協約改訂で合意
 ○第3回アジア太平洋閣僚会議(ASPAC)、キャンベラにおいて開催(8月1日まで)
 31日 ○南ア、為替制限を緩和